

総合的な学習の時間学習指導案

授業者 T1 鈴木 沙織

T2 小谷田 照代

1 学級	8年A組（男子16人 女子17人 計33人） 場所：黒潮ホール
2 単元名	静浦の「海」を知ろう、伝えよう（9/12時）
3 単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静浦の海の魅力を伝えるために聞き取ったり調べたりした内容を、まとめたり情報交換をしたりすることで多様な意見や見方があることを知り、静浦の海の魅力を再確認しながら取り組む。（主体的な学習態度） ・ インタビュー・アンケート、本・インターネット、フィールドワークを活用して、個人テーマの仮説を検証するために、情報を集め、整理・分析し、個人テーマの主張を全体テーマに関連づけることができる。（学習方法に関すること） ・ 静浦の海の魅力を伝えるために、全体テーマに沿って、自ら見出した問いから個人テーマを決定し、どのように情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現を行っていくのかという過程を経て、地域の一員として静浦が今後も海とともに成長していくためには、どうしたらいいかというところまで広げて表現することができる。（自己の生き方を考える力）

4 9年間で付けたい力

① 手立て

本校の学校教育目標は、「大きな志を抱き、挑戦し続ける人づくり」である。その学校教育目標を具現化するために、総合的な学習の時間において7年間で付けたい力を「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力」「学び方やものの考え方を身に付けて、自己の生き方を考える力」と設定した。これは、予測困難な社会の変化にあっても主体的に関わって、自ら考えていくことが、自分の人生をよりよいものにしていくことに繋がると考えたからである。そして本校では、地域との強い繋がりをもつ特色を生かして、総合的な学習の時間（静浦学習）の大きな柱を「地域学習」と「キャリア教育」の二本立てで計画し、3年生から9年生が系統立てて実践してきた。

本校では総合的な学習の時間での7年間のねらいを、以下のように設定している。

- 静浦のひと・もの・ことについての横断的・総合的な学習や様々な体験活動を通して、自ら課題を見つけ、その課題を解決するために目的をもって調べたり、比較したり、関連づけたりして、多面的・多角的に自分の考えを組み立て、判断する資質や能力を育成する。
- 地域の人々から積極的に学び、友だちと協働的に課題解決や探究活動に取り組むことを通して、わたしたちの住む「静浦」を愛し誇りに思う気持ちを高め、静浦の未来や自分の夢の実現のために思いを表現したり、粘り強く行動したりすることができる子どもを育てる。

総合的な学習の時間は、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく探究的な学習であり、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」が連続的に繋がっていく。

そこで、本単元では、これまで海とともに育ってきた静浦地区の一員として、海の魅力をより多くの人に知ってもらいたいという思いをもつところからスタートする。静浦の海の魅力を発信することを通して、個人テーマをもとに、地域の一員として課題解決に取り組もうとする態度をこの4つの探究の過程を通して育

んでいきたい。子どもは、常に全体テーマ、個人テーマと照らし合わせながら、明確な目的意識をもち、伝えたい相手にとって説得力のある魅力を発信していこうと追究していく。

「課題の設定」では、立志部（5年～7年）の子どもや地域へのアンケート結果（資料1）、今まで静浦学習でお世話になってきた静浦漁協青壮年部の綾部さんの話から、海の魅力や海を生かした取組を改めて再認識する。また、静浦の魅力についてまだ知らないこともあることに気づき、調査をして、外部から静浦を訪れる人はもちろん、地域の人たちに、自分たちが目で見て感じてきた静浦の海の魅力を伝える一人になろうと意欲をもち、「〇〇さんに、静浦の〇〇という魅力を伝えたい」という気持ちになっていく。

次に「情報の収集」をするために、今までの学習で使ってきた3つの収集方法（インタビュー・アンケート、本・インターネット、フィールドワーク）を想起し、伝えたい魅力の内容についてどのような方法で情報を得ることが適切なのかについて考える。そして、「どのような情報を、どのくらい調べたらいいのか」と、取材計画を立て、質問を予想し、見通しがもてるようにする。

「整理・分析」では、情報収集後、記録用紙に集めた情報は、まず付箋に書き出し、釣れる魚や遊漁船のよさ、サンゴの育つ海の特徴など、観点をいくつか決め、伝える相手にとってより分かりやすいものにしようと、情報の共通点や相違点を見出し、分類して整理する。

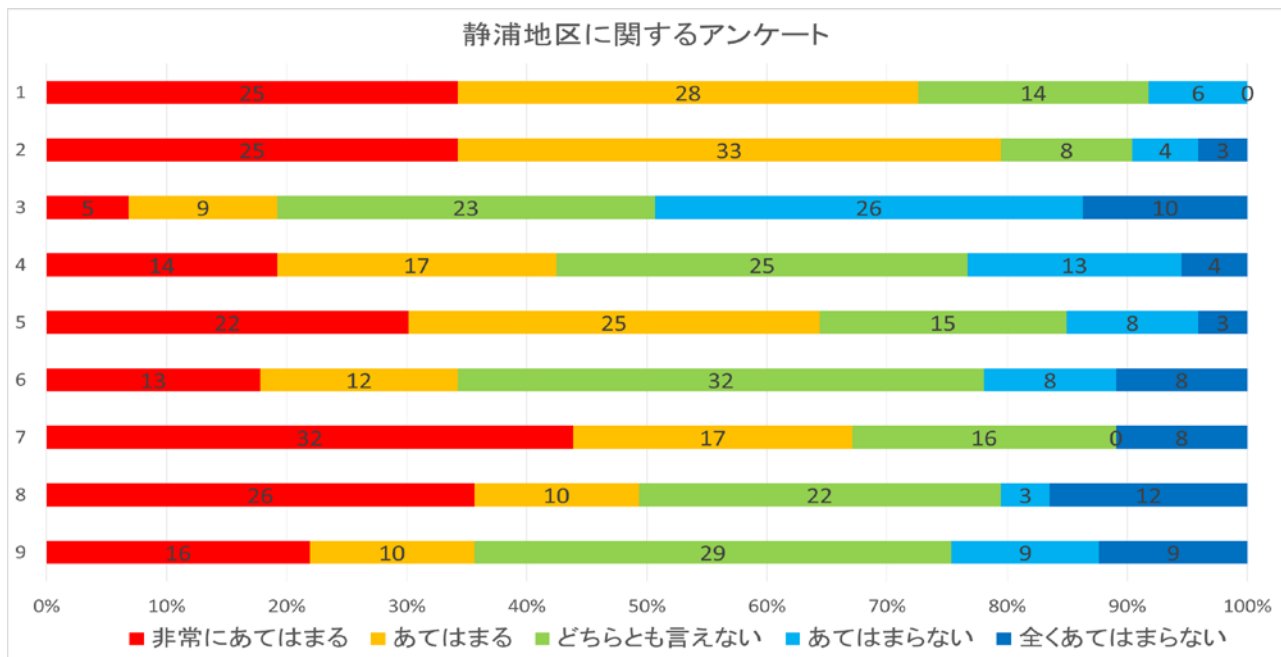
「まとめ」では、「静浦の海の魅力」を伝えるために様々な情報を整理した子どもたちが、「伝えたい相手」にとって、魅力的な情報になっているかどうかについて、友だちと対話的に話し合うことで、より説得力のある内容にしていく。サンゴの情報をたくさん集めたが、これがサンゴの育つ静浦の海の魅力になるのか、悩む子もいるだろう。対話の中では、「情報の取捨選択」「共通の情報をまとめる」「他の友達の情報とつなげて加える」「伝えたいことを筋道立てて並べ替える」という視点をはっきりさせて、相手が納得する魅力になっているかどうか、魅力の中身について練り合っていく。そのことで、相手に対して伝える内容が分かりやすく、より明確になり、さらに自分のテーマに合った伝えたい魅力へと再構築していく。

最後に「表現」では、まとめた情報をパンフレット形式で発信の準備をしていく。パンフレットには、相手意識をもち、写真なども入れるようにする。また、伝える時には、中学生の自分たちが静浦のためにできることは何か、静浦が今後も海とともに成長していくためには、どうしたらいいかというところまで広げて表現できることを期待している。

（資料1）

（アンケートの項目）

- 1…静浦地区のことが好きですか。
- 2…静浦地区の景色は美しいと思いますか。
- 3…静浦地区の海岸はきれいだと思いますか。
- 4…静浦地区の海はきれいだと思いますか。
- 5…静浦地区の海は魅力的だと思いますか。
- 6…将来もずっと静浦地区に住み続けたいと思いますか。
- 7…静浦地区で生まれ育って良かったと思いますか。
- 8…静浦の海にサンゴがあることを知っていますか。
- 9…釣り人がなぜ静浦地区へ釣りに来ているか知っていますか。



本校の総合的な学習は、担任がT 1、学習コーディネーターである司書教諭がT 2で授業を行っており、授業前には、2人で単元計画を立てている。

授業は、基本的にT 1の担任が進めるが、T 2の学習コーディネーター（司書教諭）は板書をしたり、資料の提示をしたりする。学習指導要領の総合的な学習の時間解説（新も同様）には、学校図書館や司書教諭の役割として、「学校図書館には、総合的な学習の時間で取り上げるテーマや生徒の探究課題に対応して、関係図書を豊富に整備する必要がある。総合的な学習の時間における探究的な学習の過程では、様々な事象について調べたり探したりする学習活動が行われるため、豊富な資料や情報が必要となる。（中略）図書館担当は、学校図書館の物的環境の整備を担うだけではなく、参考図書の活用に関わって生徒の相談に乗ったり必要な情報提供をしたりするなど、生徒の学習を支援する上での重要な役割が期待される。（中略）一方、総合的な学習の時間において生徒が作成した発表資料や作文集などを、学校図書館で蓄積し閲覧できるようにしておくことも、生徒が学習の見通しをもつ上で参考になるだけではなく、優れた実践を学校のよき伝統や校風の一つにしていく上で有効である。」（下線部 T 2 司書教諭）とある。

本学級の子どもたちは開校の時に4年生であったが、その時作成した「静浦地区の魚関連店図鑑をつくろう」は学校図書館で保存しており、本単元と関連付けられるので、単元の中で紹介することができた。司書教諭の仕事として、「児童生徒の発表資料保存」も大切な仕事だと改めて実感することになった。

また、外部の方々との調整も司書教諭が行っている。5年間の実践で、小学校3年生から9年生まで各学年3～8人（団体）の方と連絡を取り、教育資源のリストとして校内で共有している。毎年これらのリストを生かして、指導計画を作成したり、具体的な学習活動を充実させたりしている。

② 学びの系統性 地域学習は、主に以下の三つの探究課題について取り組んでいる。

- ・町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織（町づくり）
- ・防災のための安全な町づくりとその取組（防災）
- ・身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々（福祉）

	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
単元名 (地域学習のみ)	「静浦漁港から静浦のじまんをみつけよう」	「静浦漁港から沼津漁港へ」	「地域の高齢者とふれあおう」 「地域活性化のために自分たちにできること」	「静浦の昔、今、未来—自分たちにできること」	「地域防災のために、自分たちにできること」	「静浦の海を知ろう、伝えよう」	「沖縄と沼津 個人テーマを追求して地域に発信しよう」
主体的な学習態度	・課題解決できるように自分にできることを行う。		・目標を設定し、課題解決に向けて自分にできることを行う。		・目標を設定し、課題解決に向けて計画的に行動する。		
学習方法に関すること (考えるための技法)	整理 ・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・分類する ・比較する ・理由づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を関係づける ・多面的に見る ・多角的に見る ・具体化する 		<ul style="list-style-type: none"> ・観点を立てて情報を整理する ・目的に応じて観点をもとに情報を整理する。 		
	まとめ ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・形式に沿ってプレゼンテーションを行う。 ・報告する文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主張が伝わるプレゼンテーションを行う。 ・事実（結果）と自分の考えを区別して報告する文章を書く。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ピラミッドチャートを使って、構造化する。 ・レポートにまとめる。 ・相手や目的に応じたプレゼンテーションを行う。 		
自己の生き方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協働して課題を解決する。 ・様々な人の意見や考えを受け入れる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人の意見を尊重し、受け入れる。 ・自分にできることを考え友だちと協働して課題を解決する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けて、地域の活動に参画する。 ・様々な人の意見や考えを尊重して受け入れ、生かそうとする。 ・互いの特徴を生かし、他者と協働して課題を解決する。 		

本単元は、探究課題としては、「町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織」となる。小学生の時に地元の名産（ひらき・ワカメ）について学習し、行事として静浦漁港で開催されたカッターボート大会も経験している。中学生になって、地域防災についての学習を行い、地区ごとに集めた情報から自分たちの地区の課題を見つけて解決方法を考察し、地域防災担当が集まる地域防災会議で提案した。海の近くの地域であるからこそその危機意識をもつ一方で、サンゴの植え付け体験やららサンビーチでのスノーケル体験により、海の魅力も感じ始めている。そこで、本単元では、自分たちが学習を通して、気がつき始めている海の魅力を、伝えたい相手を決めて、その相手に届くように情報を集めて発信していきたいと考えている。

しかし、集めた情報を「発信」するためには、「整理・分析」が必要になってくる。この整理分析をする時に必要となってくるのが、「考えるための技法」である。

新学習指導要領 解説には、

「「考えるための技法」を活用するということは、自分が普段無意識のうちに立っていた視点を明確な目的意識の下で自覚的に移動するという課題解決の戦略が、同じ事物・現象に対して別な意味の発見を促し、より本質的な理解や洞察を得るといふ学びである。」(P79)とある。

子どもたちは、開校以来、「考えるための技法」を総合的な学習の時間や各教科で使ってきたが、自分の考えをまとめるときに、どの「考えるための技法」を使えば良いかについては、まだ経験値が少ない。

そこで、本単元では、自分たちの集めた情報がより本質的な理解や洞察になるのかについて、これらの技法を活用し、自分たちの情報を可視化して子ども同士で共有して考えていくことで、協働的な学習となっていくことを期待している。

5. 単元構想及び評価規準【探究過程・・・Ⅰ見通す Ⅱ集める Ⅲ考えを作る Ⅳまとめる Ⅴ表現する】

次	時	探究過程	単元構想 『○』…教師の投げかけ 『・』…予想される子どもの表れ 『□』…学習問題	主体的な学習態度 (課題発見)	学習方法に関すること (情報の活用)	自己の生き方を考える (他者と協働する)
1	1	I 課題 設定	○静浦学習ではどんなことを学んできたかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">静浦地区に関するアンケート結果から分かったことや疑問に思うことは何だろう。</div> ・静浦に住んでいる人は海を静浦の魅力だと思っているのだな。 ・意外とサンゴのことを知らない人が多いのだな。 ・静浦の人は、静浦の海のことをどのように思っているのだろう。	これまで海に関する学習をしてきたことと関連づけて、静浦の海の良さを再確認している。		
	2		○静浦の海で働いている人は海についてどう思っているのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">静浦の海とともに生活してきた綾部さんの思いを知ろう。</div> ・環境を大事にしていかなければならないな。 ・静浦は観光客に支えられているのだな。 ・海を大切にしてきた人がいるから今まで海のことについて学んでくることができたのだな。 ・多くの人に静浦の海について伝えていきたい。	静浦の海の魅力と静浦地区の海の現状を知り、それらをもとに全体テーマへと思いをつなげている。		これまでの静浦学習で学んできたことを振り返り、静浦の海の魅力について考えている。
	3 4		○静浦の海の良さを知ってもらうためのテーマを決めよう。 ・静浦にはたくさんの魅力があるよ。 ・みんなで色々な魅力を伝えていこう。	どのようにしたら静浦の海の魅力を知ってもらえるのか考える。		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">静 浦 の 海 の 魅 力 を 伝 え よ う 。</div>			
			○個人テーマを決めよう。 ・静浦の魅力は海の見える景色だと思うな。			

			<ul style="list-style-type: none"> ・静浦の海の水質の良さを伝えたら、実際に海に潜りたいと思わないかな。 ・サンゴが静浦の海の水質や生態系を豊かにしていることをもっと詳しく調べたいな。 ・静浦漁港で魚が釣れるポイントや魚の種類を、釣りマップにしたらどうかな。 ・人に伝えるために、詳しく調べないといけない。 <p>※全体テーマ、個人テーマを決める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">誰に、どんなことを伝えられるのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・静浦の海を知らない人に、静浦の海のサンゴのことを伝えたい。 ・静浦を通り過ぎてしまう観光客に、静浦でできるダイビングの魅力を伝えたい。 ・地域の人や釣りに来た人に、静浦ならではの釣りの魅力を伝えたい。 	個人テーマに迫るために、誰に、何を伝えたいのか、具体的に考える。		
2	5	II	<p>○情報収集をしよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">伝えたい相手に、海の魅力を伝えるためには、どのような情報が必要なのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・調査計画を立てて、インタビューする内容を考え、どんな答えになるか予想してみよう。 ・情報収集には、3つの方法があったな。一つだけの情報源だと説得力がないから、できるだけ複数になるようにしよう。 ・ダイビングはどこでもできるから、静浦ならではのダイビングの魅力をお店で聞きたいな。 ・ダイバーに、なぜ静浦に潜りに来たのかも聞いてみようよ。その理由は魅力に繋がると思うな。 ・景色の良さを伝えるためには、実際に写真に撮って見せることがいいと思う。 ・昼間だけでなく、朝の海や夕日に染まった海の写真も撮りたいな。 	個人テーマに迫るための情報収集の方法を見通しを立てて考えている。		
	6 7		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマごと、情報収集に行こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングショップの人やダイバーの思いが分かった。静浦の海だからこそその良さを沢山知ることができた。ダイビングの魅力がたくさんあった。 ・景色の良さを伝えるためには写真だけでなく、静浦の歴史のことも必要だった。昔、別荘があったことは景色の良さの魅力として考えられそうだ。 		インタビューやアンケート、本、インターネットから、個人テーマの答えとなる魅力を集めている。	

			<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で船に乗っている人の話は貴重だな。静浦の海をどう思っているのか分かった。環境についても伝えていきたい。 ・友だちはどのような情報を得たのかな。 			
3	8	III	<p>○調べて分かった情報を整理して、伝えたい相手にとって魅力と言えるものを選択しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集めた魅力を整理して、わかりやすくしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの時に、テーマとは直接関係ないと思う話もしてくれた。その情報が必要かどうか分からないけれど、付箋紙に書いておこう。 ・観点ごとにまとめると分かりやすいな。 ・静浦の海では、日本名がまだないエビが最近発見された。日本でもあまり見ることが出来ない貴重な魚をダイビングで見ることができるし、海中の環境の良さも関係している。 ・静浦からは、朝、昼、夕方、夜と、時間帯によって異なる美しい海を見ることができる。昔は静浦ホテルという景色を売りにしたホテルや、西郷隆盛の弟の従道の別荘があり、静浦からの景色が魅力的だったことが分かる。 ・魅力となる情報を多く集めることができた。これなら伝える準備に取りかかれそうだ。 		インタビューやアンケート、本、インターネットから、個人テーマの答えとしてより明確なものを選び、テーマと関連づけてまとめている。	
	9	IV	<p>○情報を集めたらどうしたらいいのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の伝えたい海の魅力は、この内容で相手に伝わるのかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・情報がどうなれば伝わるのかな。（筋道立てる） ・違うグループの友だちの情報も加えた方がよさそうだ。（新たな情報の取得） ・必要ない情報はかも。（必要ない情報の見極め） ・まとめられる情報がある。（共通情報のグループ化） ・湾になっていて波がなく穏やかだから、初心者でも安心して楽しめるし、釣りたい魚がいるポイントへ遊漁船で連れて行ってくれるんだ。 ・ダイバーに、静浦の海は水質が良く、沖縄の海に匹敵する美しさがあることや静浦の海でしか見られないサンゴや魚などについても伝えよう。 ・調べたことをしっかりとまとめて、自分が伝えたい相手に、静浦の海の魅力を伝えたい。 		静浦の海の魅力を、伝える相手にとって、より説得力のある魅力的な内容にまとめることができる。	
	本時					

1 0	V	<p>○静浦の海の魅力を伝えるための準備をしよう。</p> <div data-bbox="311 208 836 306" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 静浦の海の魅力を伝えたい相手に、どのようにして伝えようかな。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・静浦の海の環境については、水質の良さのデータを載せよう。 ・静浦のサンゴのことは、有名なダイビング雑誌にも載っていたから、それが分かるように示そう。 ・静浦に来たいと思ってもらえるように、それぞれのスポットで見ることができる景色の写真を載せよう。 		自分が伝えたい静浦の海の魅力を、伝えたい相手に、どのように伝えるか考える。	
1 1 1 2		<div data-bbox="311 748 826 792" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 静浦の海の魅力を伝えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・静浦には海という自慢できるものがある。釣りが人気なもの、静浦の海が豊かだから。豊かな海を維持するために、サンゴの植え付けや、釣り人のマナーについても考えていきたい。静浦の海を大切にしていこう。 ・水質が良く、静浦の海は沼津一の透明度である。それは、サンゴの影響が大きい。そしてサンゴを住処に沢山の種類の魚が生息している。サンゴの植え付けを続けることは未来の静浦の海につながっている。 		地域の一員としての自覚をもって、静浦の海の魅力を伝えている。	

本時の目標

A : 静浦の海の魅力を伝えるために、様々な情報が集まったと思っている。

- ・集めた情報が、伝える相手にとって必要なものかどうか、話し合う。
- ・友だちが得てきた情報が、自分のテーマに必要なものかどうか考える。
- ・伝える内容が、伝えたい相手にとって納得できるようなものになっているか確認し合う。

A' : 静浦の海の魅力を伝えるための様々な情報が、伝える相手にとって、より説得力のある魅力的な内容になったと認識する。

段階 本時の展開 ○教師のなげかけ ・子どもの様子 *手立て ☆評価 ★C支援 二重線枠は学習問題

○どちらが、静浦の海の魅力を伝えられるかな。(一斉)

<p>個人テーマ</p> <p>マリンスポーツをこれからやってみたく思っている人に、静浦の海だから楽しめるマリンスポーツの魅力を伝えよう。</p>	<p>魅力の内容A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上に船を泊めて様々なマリンスポーツを楽しめる。 ・ウェイクボードを楽しめる。 ×ヤマハマリーナの中村さんは静浦の海の魅力をたくさん知っている。なので勉強になる。 ・静浦の海は湾になっているので波がなく穏やか。 ・スノーケルができる。 ×ヤマハマリーナにはたくさんさんの船が保管されている。 ・船に乗って釣りを楽しめる。 ・ダイビングができる。 ・水上スキーを楽しめる。 ・富士山を眺めながら、ポートに立ってパドルを漕ぐSUPができる。(沼津観光ポータルより) 	<p>魅力の内容B</p> <table border="1"> <tr> <td>スノーケルができる。ダイビングを楽しめる。</td> <td>水上スキーを楽しめる。ウェイクボードを楽しめる。富士山を眺めながら、ポートに立ってパドルを漕ぐSUPができる。(沼津観光ポータルより)</td> <td>船に乗って釣りを楽しめる。</td> </tr> </table> <p>・伊豆半島で水質が1番だから透明度が抜群</p> <p>・静浦の海は湾になっているので波がなく穏やか</p> <p>・四季折々の魚が釣れる</p> <p>海上に船を泊めて様々なマリンスポーツを楽しめる。</p>	スノーケルができる。ダイビングを楽しめる。	水上スキーを楽しめる。ウェイクボードを楽しめる。富士山を眺めながら、ポートに立ってパドルを漕ぐSUPができる。(沼津観光ポータルより)	船に乗って釣りを楽しめる。
スノーケルができる。ダイビングを楽しめる。	水上スキーを楽しめる。ウェイクボードを楽しめる。富士山を眺めながら、ポートに立ってパドルを漕ぐSUPができる。(沼津観光ポータルより)	船に乗って釣りを楽しめる。			

必要な付箋がなくなっているね。
 他の人からもらう情報も貴重だね。
 同じ内容のものをまとめると分かりやすいね。
 並べ方でずいぶん分かりやすくなるね。

必要な情報の見極め 新たな情報の取得 共通の情報のグループ化 筋道立てた並び替え

*「まとめ・表現」の「まとめ」をするときに必要な視点を、2つの事例を提示し子どもたちから引き出す。

*話し合う視点を共通理解する。

*話し合いが有効な手立てとなるよう、意図的に3人組を作る。

*友だちと情報を共有する。

*情報源ごとに異なる付箋の色で整理されている。
 ・ピンク…インタビュー・アンケート
 ・緑…本・インターネット
 ・黄色…フィールドワーク

*付箋の色を変えて、内容を付け加える。
 ・オレンジ…友だちからの情報

*双方向の話し合いになるように、仲間の意見や考えを聞いて、疑問に思ったことを質問したり、関連することを見つけたりして、考えをつなげる。

*時間いっぱい対話を続ける。

*個人テーマに戻り、話し合ったことをもとに考えをつなげる。

☆静浦の海の魅力を、伝える相手にとって、より説得力のある魅力的な内容にまとめることができる。
 【話し合い・ワークシート】

★どのように考えをまとめたらいいか迷っている場合は、仲間の意見も参考にしながら考えるように伝える。

自分の伝えたい海の魅力は、この内容で相手に伝わるのかな。

○この魅力の内容のままでいいのかな。(小集団)

<p>【将来海の近くに移住したいと思っている人に、静浦の海の景色の魅力を伝えよう。】 景色の魅力を伝えるのに、必要ないものがあるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイビングは景色ではなく海の中のことだよ。 ・潜って見る海の中景色ではなく、陸から眺める良さを伝えたいんだよね。 ・でも透明度の良さや残っていると思うよ。 ・近くで見る海が透き通っているときれいだと思っただから別荘があったんだ。 	<p>【静浦の海にサンゴがあることを知らない地域の人に、静浦の海で育つサンゴの魅力を伝えよう。】 サンゴが魚の住処になることは知ったけど、どんな魚がいるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕の集めた情報だと、ハタタテダイやサクラダイがいるよ。 ・サンゴのことを知るならば、ダイビングをするのが1番だよ。この雑誌の情報を加えたらどう? 	<p>【静浦でダイビングをしたことがないダイバーに、静浦の海でできるダイビングの魅力を伝えよう。】 同じようなダイビングの情報ばかり集めたけど、まとまりがないな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質と透明度の情報があるけど、一つにまとめられるよね。 ・その方が説得力を増すことができるのでは? 	<p>【都会から釣りに来る人に、静浦の海の特徴を生かした遊漁船の魅力を伝えよう。】 静浦の海の特徴を生かした遊漁船の魅力は、この順番で伝わるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静浦ならではの特徴を伝えるなら、湾になっていて穏やかな海であることをまず伝えるといいね。 ・駿河湾に面しているから深いところの魚も釣れるんだよね。 ・タチウオが釣れるポイントへ行ってくれるのは遊漁船の魅力だね。
--	---	---	--

○友だちのアドバイスをもとに、伝えたい魅力を整理し、見直そう。(個、小集団)

<p>志下には、政府の重要な人の別荘があり、静浦ホテルもあった。隣には御用邸もある重要な場所だった。</p>	<p>水温が安定していて、プランクトンも豊富なため、静浦の海はサンゴが育つ北限である。</p>	<p>駿河湾は浅いところから深いところまであるので、様々なダイビングをすることができる。</p>	<p>静浦の海は湾になっているので、波が穏やかである。</p>
<p>景色 ・海と富士山を一緒に見ることができる ・夕日で赤く染まった富士山も見られる</p> <p>水質 ・水質も良く透明度も抜群 ・海の底まで見える</p>	<p>サンゴを住処にする魚 ・ハタタテダイ ・サクラダイ</p> <p>有名なダイビング雑誌に静浦のサンゴの群生が載っており、サンゴ礁が広がっている。</p>	<p>水質 ・伊豆半島で1番良い ・沖繩に匹敵する透明度</p> <p>静浦の海でしか見られないもの ・真実の口 ・サクラダイ ・GYOI (ギョイ)</p>	<p>遊漁船で釣りをすると、釣りた魚がいるポイントへ連れて行ってくれる。</p> <p>静浦で釣れる魚 ・タチウオ ・アジ ・マダイ ・ムギイカ</p>
<p>静浦の景色と海が、四季によって朝晩で違うから1年中海に魅力を感じることができる。</p>	<p>温暖な静浦の海ではサンゴが育ち、そのサンゴを住処に様々な魚が棲みついている。</p>	<p>初心者からベテランダイバーまで、幅広く静浦の海を楽しめるという魅力がある。</p>	<p>釣り(船釣り)に慣れていない人でも安心して楽しむことができる。</p>

○この学習を通してどんなことに気がついたかな。

- ・最初は自分のテーマとは関係ないと思っていた友だちの魅力が、話し合いをして、実は自分のテーマと繋がりにあることに気づくことができて良かった。
- ・魅力の内容がたくさんあった方が説得力が増すと思っていたけど、伝えたい相手のことを考えると、必要ないものもあるということが分かった。
- ・友だちと4つの視点で話し合うことで、より説得力のある魅力的な内容に変わるんだ。
- ・調べたことをしっかりとまとめて、自分が伝えたい相手に、静浦の海の魅力を伝えたい。

単元名		3年 静浦探検隊静浦漁港から静浦のじまんをみつけよう (横断的 算数「棒グラフ」)		
時期(時間)		4月～10月 (27時間)		
単元目標		○地元産業である漁業やひらき工場について、問いを見つけ、情報の取活動を通して、問いを解決してまとめて発表することができる。(学習方法に関すること) ○ (自分自身に関すること) ○ (他者や社会との関わりに関すること)		
予想される子どもの個人テーマ		○静浦のひものは、おいしいときいたけれど、本当だろうか。	○漁港にあるお店に、なぜひものばかり売っているのだろうか。	
探求過程		タイトル	学習の流れ	準備
I 課題設定	つかむ	A テーマを決める	第1次 ○知っていることを整理する (1) ○漁港へ見学に行く (2-3) ○KWL シートにまとめて、知りたいことを整理する。(4-5)	地図印刷
	見通す	B 計画を立てる	第2次 ○静浦のひものが本当にじまんでおいしいのか焼いて食べてみる。(6-7) ○ひものを食べてみて、もっと知りたくなったことをまとめよう。(8) ○なぜ、こんなにおいしいひものが作れるのかそのひみつを探りに工場見学へ行く。 ○地図で「ひらき工場」が多いか確認する。(6) ○問いを解決するために、アンケートを作成し、集計する。(7-9) ○集計した表から棒グラフを作り、分かったことをまとめる。(10) ○アンケート結果から「ひらきが好き」が多くなかったため、味を確かめるためにひらきを焼いて食べる。(11-12) ○工場見学での質問を考える (13) ○ひらきをどこで、どのように作っているかを知るために見学に行く。(14-17) ○工場見学まとめ (18) ○ひらきを自分たちでつくる。(19-20)	
II 情報の収集	集める	C 探索する		
	取める	H 情報を手元に置く		
III 整理分析	考えをつくる	I 主張を見いだす		第3次 ○集めた情報から、主張と根拠を組み立てる。(21-22)
		J データを調べ		
IV まとめ表現	まとめる	K 組み立てる	第4次 ○報告文を書く。(23) ○プレゼンテーションスライドにまとめる(24-25) ○プレゼンテーションを発表する。(26-27)	
	表現する	L プレゼンテーションをする		
		M 事実や事柄を正確に伝える。		
		N 根拠に基づいて考えを伝える		
				静浦漁港 青壮年部 鈴木博雄商店 ヤマカ水産 沼津魚仲商 協同組合

学年単元名	5年 「静浦ふれあい大作戦」
時期	5月～9月（24時間）
ねらい	(1)「静浦の福祉」を学習する過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、静浦の特徴や良さに気付く。 (2)「静浦の福祉」に関する事柄から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 (3)「静浦の福祉」についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、社会に参画しようとする態度を育てる。

探求過程	タイトル	学習の流れ	準備	連絡先など
I 課題設定	つかむ A テーマを決める	①課題 ○静浦とはどんなところだろうか(1) ○「静浦のお年寄りはどうな暮らしをしているのだろうか」(2)	KWLシート	サン静浦 ふれあい静浦 静岡社会福祉協議会 「福祉のお仕事魅力発見セミナー」
II 情報の収集	見通す B 計画を立てる	②情報の収集 ○「ふれあい静浦」を訪問する計画を立てる(3-4)		
	集める C 探索する	○「ふれあい静浦」訪問(5)		
	D 事典・辞書を引く	○KWLシートにまとめる(6)		
III 整理分析	考えをつくる I 主張を見いだす J データを読む	○「サン静浦」を訪問する計画を立てる(7)		
		○「サン静浦」を訪問する(8)		
	E 目次・索引を使う	○KWLシートにまとめる(9)		
		F インターネットを使う	○「ふれあい静浦」の職員とるためのアンケートを作成する(10-12)	
収める H 情報を手元に置く	○アンケートを集約しまとめる(13)			
IV まとめ	まとめ K 組み立てる	○「福祉の仕事」出前講座を受ける(14)		
		③整理 ○アンケートのまとめと、出前講座のふりかえりから、あらたな課題を見つける(15)		
表現	表現する L プレゼンテーションをする M 事実や事柄を正確に伝える。 N 根拠に基づいて考えを伝える	①課題 ○「自分たちにできることは何だろうか」 夏休みに近所のお年寄りとおふれあう計画(16)		
		②収集 ○近所のお年寄りとおふれあう(夏休みに実践)		
		③整理 ○あつめた情報から自分の考えをつくる。		
		④まとめ・表現 ○自分の考えを組み立てる。		

振り返り

- ・導入の段階で、子どもたちが「静浦の福祉」に自然と興味がわくような、データを子どもたちに提示できるとよかった。教師側の教材研究をもう少ししておくべきだった。
- ・1番難しいのは、「整理分析」。今までは、班で情報を共有して、それを全体の場で伝えたり、聞かれたことを教師が直接アドバイス(答えたり)して終わっていた。付箋でまとめて、それを関連づけるなどという手法は使っていなかった。自分自身がそういう手法を習得していなかったので、子どもにも指導はできなかった。次に難しいのは、「テーマの設定」。どういう問いを作るのかについて、教師側の情報をもっていないと、子どもが本当に「知りたい」という問いが出てこない。今回の場合は、福祉協議会の方の講話は、最初にあったほうがよりよい問いになったと思う。

学年単元名		6年 「静浦の昔と今」		
時期		5月～7月 (全 12時間)		
単元目標		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味のある静浦の昔について、聞き取ったり、調べたり、まとめたりすることで、多様な意見や見方があることを知り、将来自分がやりたいことをイメージしながら取り組む(主体的な学習態度) ・資料や地域の人の講話による情報を活用して、個人の問いに対する情報を集め、整理・分析して問いに対する答えを導き出すことができる。(学習方法に関すること) ・静浦の地域がどのようなところなのか知るために、個人の問いを作り、将来自分が地域のためにどのようなことができそうなのか考えることができる。(自己の生き方を考える力) 		
予想される子どものマイテーマ		○江浦の花火大会はなぜ終わってしまったのか。	○小瀬祭りはなんで行うのか。	○静浦に別荘地が多いのはなぜか。
探求過程		タイトル	学習の流れ	準備
I 課題設定	つかむ	A テーマを決める	第1次(課題設定) ○静浦といえば、どんなところかな。自分の興味のもったものは何か。(1-2) 【テーマを決定】 ○ふるさとマップを読んでどんなことに興味をもったかな。これからの計画を立てよう(3) 【調査計画】	コンセプトマップ ・ふるさとマップ ・開校五十周年記念誌 ・小さな問いを作るシート ・マンダラート ・付箋 ・画用紙
	II 情報の収集	見通す 集める		
III 整理分析	考えをつくる	I 主張を見いだす J データを読む	第3次(整理分析) ○地域の人の話を聞いて、どんなことがわかったかな。自分が聞いた情報を付箋紙にまとめ、関係づけながら自分の考えを作る(8)	・学習シート ・画用紙
	IV まとめ表現	まとめ 表現する		
振り返り ・各グループのテーマが広くしすぎて、地域の方を探すことが大変であった。 ・最後、自分の問いに対するまとめを画用紙にまとめて掲示で終わってしまった。(学習シートと画用紙にまとめが同じになってしまった。) ・地域の人の講話と質問する機会は非常に良かった。勉強になる。				

・馬込自治会長
 ・文化財(木村さん)
 ・江浦花火大会実行委員長
 ・旧静浦中教員

学年単元名		7年 ～もしもに備えて、今わたしたちができることは？～			
時期		4月～7月 (全 15時間)			
単元目標		<ul style="list-style-type: none"> ・津波被害対策指定区域になる静浦の地区における防災への取り組みを理解し、自分たちの地域のためにできる自己の役割を認識できるようにする。(主体的な学習態度) ・インタビューや本、インターネットを活用して、個人テーマに対する情報を集め、整理分析して個人テーマの主張を全体テーマに関連づけることができる。(学習方法に関すること) ・地域の方と現状の防災への取り組みを確認し、これからの防災に対する課題を考えることができる。(自己の生き方を考える力) 			
予想される子どものマイテーマ		○地域の防災対策はどのようなになっているのだろうか。	○実際に被災した場合、避難経路や防災備蓄用品は大丈夫だろうか。	○今後の地域防災対策として、私たちができることは何だろうか。	
探求過程		タイトル	学習の流れ	準備	
I 課題設定	つかむ	A テーマを決める	第1次 (課題設定) ○地域の防災対策において、昨年度はどのような課題や会議があったのだろうか。(1) ○自分の地域のハザードマップをみてみよう(2) ○活動内容に見通しを立てよう。 (全体テーマ決定)(3) ○地区ごとにテーマを設定し、課題や調査方法を考えよう。(4) ○調査計画を立て、課題解決に必要なアンケート用紙や、フィールドワークの準備をしよう。(個人テーマ決定)(5) ※アンケートの作り方(読解1) 第2次 (情報の収集) (○情報収集は、放課後など) ○救命救急講座を受講し、自分たちができることについて考えよう。(6・7) 第3次 (整理分析) ○集めた情報を整理しよう。(8)	昨年度の防災対策会議の映像 ※静浦学習プリント毎時間活用(常に同じものを使用) インタビューシート 付箋	※地区の防災担当との打ち合わせ 地域防災倉庫の管理者との連絡 沼津市防災担当との打ち合わせ
	II 情報の収集	見通す			
集める		C 探索する D 事典・辞書を引く E 目次・索引を使う F インターネットを使う G 調査をする			
収める		H 情報を手元に置く			
III 整理分析	考えをつくる	I 主張を見いだす J データを読む	第4次 (まとめ、表現) ○集めた情報をまとめ、主張(提言)を決めよう(9、10) ○防災会議用のスライドを作ろう(11) ○地域防災会議において、地区の方たちと意見を交換し、今後自分たちができることは何か考えよう。(12) ○調べた事をレポートにまとめよう(13～15)	付箋 パワーポイント 発表掲示物	地区の代表者や関係職員との連絡
	まとめ表現	K 組み立てる L プレゼンテーションをする M 事実や事柄を正確に伝える。 N 根拠に基づいて考えを伝える			
振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・個人テーマや学習課題を一人一人が設定するまでに時間がかかった。 ・昨年度のものと同じにならないように、最初のガイダンスでは資料を小出しにしたことが良かった。 ・学習課題、調査方法、調査結果、自分の考えという発表の流れを統一したことにより発表の流れがスムーズであった。 ・調査方法が、ほとんどのグループで現場の写真資料の収集になってしまった。 ・地域防災会議では、限られた時間の中で地域の方と建設的な意見交換ができた。 					